

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社 菅原工務所
実習期間	令和 2年 3月 16日 ～ 令和 2年 3月 19日
学生氏名	森 辰弘
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none">・ 建物の設計図の読み取り・ お店の小工事・ 他社との営業の話し合いに参加・ 現場調査・ cad を使って作図・ 施工の学習・ ドローンを使った現場調査・ 高速道路建設地の見学・ 測定の体験・ 断面図の作図・ 住宅設計の考察・ cad を使ってモデル作成
学び・気づき (300 字程度)	<p>私が今回の実習先を決めた理由は、建築に興味があること、地域に必要とされる企業を目指しているということに興味を引かれたからである。企業の主な仕事はお客様と建設会社の仲介役や、現場のとりまとめなどだった。</p> <p>現場に出て、とても印象に残っているのは、挨拶をしっかりと交わっていたことだ。挨拶を交わすことによって相手の雰囲気や体調の様子を感じ取ったり、現場の活気をあげたりしていると感じられた。他に、所属する企業が異なっても仕事では共同作業するため、相手に自分のことを覚えてもらう機会にもなると思った。狭い地域で活動するからこそ土地の歴史や町の様子、住民との繋がりが大切であり、魅力がたくさん詰まっていると教えていただいた。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>今後の大学生活では、教えていただいた、調べる力、コミュニケーション力、要点をまとめる力を中心として、良い部分をさらに伸ばしながら他人との交流を広げ、なおかつ、人脈と知識の両方を深めたり、本をたくさん読むことによって読解力や文章力などを身につける努力をしたりするなどの自分とは異なる価値観を持った人をお手本にすることで、今回のインターンシップで学んだ、人との繋がりと時間を大切に社会人となった時のことを想定して過ごしていきたい。</p>

インターンシ
ップをして気づ
いた、実習先の魅力
(300字)

菅原工務所様は、建設・土木・住宅といった幅広い分野で仕事を行っており、地域を第一に考えている企業でした。小工事優先という企業目標を掲げていて、実際、実習中もいくつかの住宅や自営業のお店の工事の様子を見学させていただきました。誰でも気軽に相談でき、理想の住宅を求めることができました。企業の正社員の方々は全員優しく、親身になっていろんなことを教えてくれたので安心して実習をすることができました。他企業との話し合いの様子も会話が弾みながら良い雰囲気で行っていたので、会社内だけで信頼しあっているのではなく、地域からも信頼され必要とされている企業だと感じました。

写真 (1~3点)

